

技術提案に関する質問に対する回答

件名	長野自動車道 犀川橋耐震補強工事
----	------------------

番号	質問箇所	質問事項	回答（発注者使用欄）
1	様式－提案1、2について	配布された「09_技術提案書様式_長野自動車道 犀川橋耐震補強工事. docx」様式に本件とは関係がないと思われる評価項目が記載されておりますが、入札公告（説明書）に記載されている評価項目に修正して使用すればよろしいでしょうか。	入札公告（説明書）に記載されている評価項目に修正して使用願います。
2	様式-提案1、2の評価項目①② それぞれの評価項目名	当該箇所に書かれている内容が入札公告に書かれている技術提案評価項目と異なります。入札公告の評価項目内容が正しいでしょうか。	入札公告（説明書）に記載されている評価項目に修正して使用願います。
3	留意事項①について	留意事項①に「技術提案書はA4判1頁(片面)に評価項目で求めた提案数全てを記載すること」とあります。評価項目の最大4項目を全て記載する場合、1つの項目が簡易的な説明になりやすいと思われますが、間違いないでしょうか。	間違いございません。
4	◊留意事項①について	◊留意事項①に「技術提案書は、A 4 判 1 頁(片面) に評価項目で求めた提案数全てを記載すること。」と記載があります。提案毎にA 4 判 1 頁 (片面) の間違いでないでしょうか？ご教授願います。	技術提案書は、A 4 判 1 頁(片面) に評価項目で求めた提案数全てを記載するものとお考え下さい。
5	評価項目について	提案 1、4 の評価項目は、「留意点と対策案に関する技術提案」となっていますが、ここでいう「留意点」とは技術提案書にある「着目点」と同じ意味でしょうか？	同じ意味ではございません。
6	評価項目について	提案 2、3 の評価項目には「留意点」という記述がありませんが、留意点または着目点は評価対象とならないということでしょうか？	着目点を踏まえた提案内容を評価いたします。
7	評価基準について	技術提案書に記述する 4. 施工実績の有無によって、評価が変わる可能性があるのでしょうか？	施工実績を有していることにより、提案内容の実現性があることを担保する場合は、施工実績の有無によって評価が変わる可能性がございます。
8	様式について	評価項目として提案 1～4 がありますが、この内容を評価項目①～④の欄に記述すればよいのでしょうか？	そのとおりお考え下さい。
9	様式について	記載された例のとおり、1 つの評価項目に対して、「【技術提案 1】〇〇について」、「【技術提案 2】〇〇について」のように 2 つの提案が必要でしょうか？	入札公告（説明書）に記載されている提案 1～4 を技術提案書様式の評価項目①～④の欄に記載願います。また、技術提案書様式における「【技術提案 1】〇〇について」の〇〇には、貴社の提案内容の表題を記載願います。

技術提案に関する質問に対する回答

件名	長野自動車道 犀川橋耐震補強工事		
番号	質問箇所	質問事項	回答（発注者使用欄）
10	様式について	1つの評価項目に対して、1つの提案である場合は、「【技術提案1】〇〇について」の欄を省略することが可能でしょうか？	省略できません。また、技術提案書様式における「【技術提案1】〇〇について」の〇〇には、貴社の提案内容の表題を記載願います。
11	様式について	提案2、3の評価項目には「留意点」という記述がありませんが、技術提案書の2. 提案内容の欄に留意点に関する記述は必要ないということでしょうか？	入札公告（説明書）に示す提案2、3の評価項目に合致する提案であれば、留意点に関する記述の有無は問いません。
12	評価基準について	提案3 鉄道への近接施工となる足場内作業※1について、更埴Cランプ橋のP1橋脚（A2橋台側）およびA2橋台の落橋防止構造の設置に関する作業の中に、枠組足場及び吊足場の設置撤去作業も含まれるのでしょうか？	鉄道への近接施工となる足場内作業には、枠組足場及び吊足場の設置撤去作業は含まれないものとお考え下さい。
13	評価基準について	提案3 鉄道への近接施工となる足場内作業における鉄道施設及び供用中の鉄道に対する安全対策について、作業・運搬で使用する枠組足場や吊足場の工夫も評価対象となるのでしょうか？	鉄道付近の枠組み足場及び吊足場の工夫については、評価の対象外とお考え下さい。
14	評価基準について	提案3 鉄道への近接施工となる足場内作業について、特記仕様書7-3において（夜2）時間帯での夜間作業となっていますが、線路閉鎖及び停電作業での施工を想定されているのでしょうか？	単価項目の末尾に（夜2）表記のある項目は、線路閉鎖及び停電作業での施工を想定しています。
15	評価基準について	提案3 鉄道への近接施工となる足場内作業について、上記の通り線路閉鎖及び停電作業での施工となる場合、1ヶ月あたり何日程度施工ができると想定されているのでしょうか？	共通仕様書1-13「作業日」の規定以外の施工不可日はないことを想定しております。
16	【提案1】 橋脚のコンクリート巻立て補強におけるコンクリート打設時の品質確保に関する留意点と対応策に関する技術提案	評価項目に記載されている“コンクリート巻立て補強”とは、具体的にどの工種を指すものでしょうか。	特記仕様書11「工程表及び履行報告に関する事項」に記載している、工程表の項目で橋脚R C巻立て工に該当する工種を指すものとお考え下さい。
17	【提案1】 橋脚のコンクリート巻立て補強におけるコンクリート打設時の品質確保に関する留意点と対応策に関する技術提案	評価項目に記載されている“コンクリート巻立て補強”には、RC巻立て補強の橋脚上部に打設される「無収縮モルタル工」も含まれるでしょうか。	「無収縮モルタル工」は評価対象外とお考え下さい。

技術提案に関する質問に対する回答

件名	長野自動車道 犀川橋耐震補強工事		
番号	質問箇所	質問事項	回答（発注者使用欄）
18	【提案2】既設構造物ヘアンカー等の削孔による既設構造物の損傷防止に関する技術提案	※1で、"中間貫通鋼材工B φ 52・1400（水平方向）"は除くと記載されていますが、"中間貫通鋼材A φ 52・3500（水平方向）"は評価対象に含まれるでしょうか。	「中間貫通鋼材A φ 52・3500（水平方向）」は評価対象に含まれます。
19	【提案4】犀川橋の非出水期での施工を考慮して所定の期間内に確実に河川内橋脚の施工を行うための留意点と対応策に関する技術提案	犀川橋P15、P16において、1非出水期から2非出水期までの出水期期間、橋脚周囲の埋戻し時に、埋戻し地盤高以下に大型土のうを残置することは可能でしょうか。	非出水期で掘削した箇所は出水期までに現況復旧することが条件のため、埋戻し地盤高以下においても大型土のうを残置することはできないものとお考え下さい。
20	【提案4】犀川橋の非出水期での施工を考慮して所定の期間内に確実に河川内橋脚の施工を行うための留意点と対応策に関する技術提案	鋼矢板や腹起し材の規格や仕様を変更する提案は、「入札公告（説明書）」P.9の△留意事項に記載されている”当該工事の設計図書に適合しない場合”等に該当し、不採用となるでしょうか。	鋼矢板や腹起し材の規格や仕様を変更する提案は”当該工事の設計図書に適合しない場合”等に該当するものとお考え下さい。
21	様式－提案1	様式では、評価項目2つ分のみの記載欄となっておりますが、適宜欄を追加して記載してよろしいでしょうか。	適宜、欄を追加して記載願います。
22	様式－提案2	様式では、1つの評価項目に対して2つの技術提案を記載する様式となっていますが、今回の評価項目数に従い4つの評価項目に対して1つの技術提案を記載する様式に変更してよろしいでしょうか。	4つの評価項目に対して1つの技術提案を記載する様式へは変更しないでください。評価項目毎に技術提案を記載願います。
23	様式について	公告資料の技術提案書様式に記載してある評価項目が、入札公告（説明書）9ページ目に記載してある評価項目と異なっています。 修正した技術提案様式の交付をお願いいたします。	入札公告（説明書）に記載されている評価項目に修正して使用願います。
24	評価項目 【提案3】について	更埴Cランプ橋においてA2橋台への材料搬入ルートは、P1側から搬入し、P1-A2間の吊り足場上を運搬し、A2側へ運搬という流れでよろしいでしょうか。また、作業時間帯については、夜間0時05分～5時00分のうちの4時間程度という認識でよろしいでしょうか。	ご質問いただいたとおりの施工を想定しております。

技術提案に関する質問に対する回答

件名	長野自動車道 犀川橋耐震補強工事		
番号	質問箇所	質問事項	回答（発注者使用欄）
25	様式-提案2	”評価項目”のあとに記載する番号（①、②）と【技術提案】の”技術提案”のあとに記載する番号（1、2等）の振り方をご教示願います。	入札公告（説明書）に記載されている提案1～4を技術提案書様式の評価項目①～④の欄に記載願います。また、技術提案書様式における「【技術提案1】〇〇について」の〇〇には、貴社の提案内容の表題を記載願います。
26	様式-提案2	4. 施工実績（工期：〇〇 発注者：〇〇）の”工期：”、“発注者：”は省略してよろしいでしょうか。	記載不要です。
27	様式-提案2	フォントの種類、紙面の余白サイズ、行間や字間の設定については競争参加者が任意に設定してよろしいでしょうか。	フォントの種類、様式の余白サイズ、行間隔や文字間隔の設定については任意に設定していただいて結構です。ただし、判読可能なものとしてください。
28	様式-提案2	2. 提案内容に記載のある”※施工・安全・工程に関する計画等、採用工法・資機材等の実績・根拠等がある場合は、その内容を記載すること”は記載を省略してもよろしいでしょうか。	記載不要です。
29	様式-提案2	word書式の評価項目の記載が入札説明書の最終ページの課題の記載と異なりますが、入札説明書の課題が正しいと考えてよろしいでしょうか。	入札公告（説明書）に記載されている評価項目にword書式を修正して使用願います。
30	最終ページ 評価項目	「【提案1】橋脚のコンクリート巻立て補強※1におけるコンクリート打設時※2の品質確保に関する留意点と対応策に関する技術提案※1中空断面橋脚のエアモルタル充填工は除く※2打設時とは、コンクリート施工管理要領（令和6年4月）6-1運搬および打込みに関する内容」とありますが、様式-提案2の評価項目欄に記載する際に、”※1”、”※2”、”※1 中空断面橋脚のエアモルタル充填工は除く※2打設時とは、コンクリート施工管理要領（令和6年4月）6-1運搬および打込みに関する内容”的記載を省略してもよろしいでしょうか。	省略できません。

技術提案に関する質問に対する回答

件名	長野自動車道 犀川橋耐震補強工事		
番号	質問箇所	質問事項	回答（発注者使用欄）
31	最終ページ 評価項目	<p>「【提案2】既設構造物へアンカー等※1の削孔による既設構造物の損傷防止に関する技術提案※1上部工炭素繊維補強工 炭素繊維補強定着体、中間貫通鋼材工B ϕ 52・1400（水平方向）、段差防止構造A、段差防止構造Bおよびあと施工せん断補強工 ϕ 55・2911（水平方向）は除く」とありますが、様式一提案2の評価項目欄に記載する際に、”※1”、”※1上部工炭素繊維補強工 炭素繊維補強定着体、中間貫通鋼材工B ϕ 52・1400（水平方向）、段差防止構造A、段差防止構造Bおよびあと施工せん断補強工 ϕ 55・2911（水平方向）は除く”の記載を省略してもよろしいでしょうか。</p>	省略できません。
32	最終ページ 評価項目	<p>「【提案3】鉄道への近接施工となる足場内作業※1における鉄道施設および供用中の鉄道に対する安全対策に関する技術提案※1鉄道への近接施工となる足場内作業とは、更埴Cランプ橋のP1橋脚（A2橋台側）およびA2橋台の落橋防止構造の設置に関する作業」とありますが、様式一提案2の評価項目欄に記載する際に、”※1”、”※1鉄道への近接施工となる足場内作業とは、更埴Cランプ橋のP1橋脚（A2橋台側）およびA2橋台の落橋防止構造の設置に関する作業”的記載を省略してもよろしいでしょうか。</p>	省略できません。
33	【提案1】	犀川橋において、橋脚の上部でRC巻立てと縁端拡幅が重なる箇所（例設計図64/523）は、提案範囲でしょうか。	RC巻立て部は提案対象となります、縁端拡幅部は評価の対象にはならないものとお考え下さい。
34	【提案2】	アンカー削孔は、コアボーリング機械を用いたアンカー削孔工で工法指定されていると考えてよろしいでしょうか。若しくは、設計図書に示されている削孔径・削孔長・削孔向きを満足していれば、任意の方法でよろしいでしょうか。	任意の方法とお考え下さい。
35	【提案2】	特記仕様書に示す鉄筋探査を実施する鉄筋探査機の仕様をご教示願います。	コンクリート施工管理要領をご確認ください。

技術提案に関する質問に対する回答

件名	長野自動車道 犀川橋耐震補強工事		
番号	質問箇所	質問事項	回答（発注者使用欄）
36	【提案3】	鉄道への近接施工箇所での夜間施工において、線路閉鎖・停電が実施できない期間はありますでしょうか。（毎日実施できるかどうか）	共通仕様書1-13「作業日」の規定以外の施工不可日はないことを想定しております。
37	【提案3】	鉄道への近接施工において、想定する停電の開始時刻・終了時刻をご教示願います。	特記仕様書7-3「作業時間」に示す（夜2）の時間を想定しています。
38	【提案3】	鉄道への近接施工箇所での夜間施工において、線路閉鎖後は、工事関係者が線路内を往来できると考えてよろしいでしょうか。	可能とお考え下さい。
39	【提案3】	鉄道への近接施工箇所での夜間施工において、線路閉鎖後は線路内を往来しての資機材搬入・搬出は可能でしょうか。	人力で運搬可能な資機材の搬入出以外で線路内の往来はできないものとお考えください。
40	【提案3】	しなの鉄道の上部を横断する吊り足場 FRP製（設計図43/57参照）は工事関係者の通行が目的でしょうか。	しなの鉄道の上部を横断する吊り足場は工事関係者の通行及び材料運搬時の使用を想定しています。
41	【提案3】	しなの鉄道の上部を横断する吊り足場 FRP製（設計図43/57参照）は材料の運搬経路を想定しているのでしょうか。	しなの鉄道の上部を横断する吊り足場は工事関係者の通行及び材料運搬時の使用を想定しています。
42	【提案3】	しなの鉄道の上部を横断する吊り足場 FRP製（設計図43/57参照）の内空幅、内空高をご教示願います。	幅は2,800mm程度、足場材の下端は、桁下面から1,200mm程度を想定しております。
43	【提案3】	吊り足場や枠組み足場は、施工開始から完了までの期間において常設を想定しているのでしょうか。	常設することを想定しております、
44	【提案3】	吊り足場や枠組み足場の設置・撤去に関する提案は評価対象でしょうか。	枠組み足場及び吊足場の工夫については、評価の対象外とお考え下さい。

技術提案に関する質問に対する回答

件名	長野自動車道 犀川橋耐震補強工事		
番号	質問箇所	質問事項	回答（発注者使用欄）
45	【提案4】	犀川橋 P15橋脚、P16橋脚、P17橋脚における鋼矢板打込み工法の標準案をご教示願います。	硬質地盤クリア工法による打込みを想定しております。これについては、後日、参考積算条件書にて明示いたします。なお、本回答により契約上の工法を指定するものではございません。
46	【提案4】	犀川橋 P17橋脚の河川内工事における施工時期が令和8年度の非出水期となっており、P15橋脚・P16橋脚の令和8・9年度の非出水期と比べて短い設定となっている背景をご教示願います。	協議等によるものとお考え下さい。
47	【提案4】	犀川橋 P17の上部の落橋防止構造は提案の対象範囲でしょうか。	提案の対象外とお考え下さい。
48	【提案4】	犀川橋 P17の上部の落橋防止構造は、非出水期（令和8年11月～令和9年3月）にどのような作業を想定しているのでしょうか。	吊り足場内での作業であれば、非出水期・出水期によらず、P17橋脚上部の落橋防止構造の施工は可能とお考え下さい。
49	【提案4】	犀川橋 P17の上部の落橋防止構造は、出水期（令和9年4月～7月）にどのような作業を想定しているのでしょうか。	吊り足場内での作業であれば、非出水期・出水期によらず、P17橋脚上部の落橋防止構造の施工は可能とお考え下さい。
50	【提案4】	犀川橋 P17の上部の落橋防止構造は、出水期（令和9年4月～7月）にも吊り足場内での作業が可能と考えてよろしいでしょうか。	可能とお考え下さい。
51	【提案4】	犀川橋 P15橋脚、P16橋脚、P17橋脚における鋼矢板引抜工法の標準案をご教示願います。	電動式バイブルハンマによる引抜を想定しております。これについては、後日、参考積算条件書にて明示いたします。なお、本回答により契約上の工法を指定するものではございません。
52	【提案4】	犀川橋 P17橋脚の構造物掘削（特殊部A2）は昼夜とありますか、24時間施工可能ですか。それとも、施工ができない時間帯はありますか。	24時間施工可能とお考え下さい。
53	【提案4】	犀川橋 P17橋脚の構造物掘削は昼夜となっていますが、同橋脚における炭素繊維巻立て工（下地処理、表面仕上げ含む）、落橋防止構造、上部工補強工、塗膜除去工、仮縫切工は昼夜施工は可能ですか。	（昼夜）と記載のある項目以外は昼間の施工を想定しております。

技術提案に関する質問に対する回答

件名	長野自動車道 犀川橋耐震補強工事		
番号	質問箇所	質問事項	回答（発注者使用欄）
54	【提案4】	犀川橋 P15橋脚、P16橋脚、P17橋脚のにおける鋼矢板施工の工程を算出する基礎資料として、ボーリング柱状図をご提示いただけませんでしょうか。	追加の資料は提供できません。 設計図(42/523、43/523、45/523)及び特記仕様書24-4「構造物掘削」に記載のあるものでお考え下さい。
55	評価項目 【提案4】	構造物掘削特殊部における土留工の仕様および施工方法の変更についての提案は可能でしょうか。	構造物掘削特殊部における土留工の仕様の変更にかかる提案は認めないものとお考え下さい。ただし、施工方法にかかる提案は認めるものとお考え下さい。
56	技術提案書様式	入札公告と技術提案書様式の評価項目が合致しませんが、技術提案書様式の評価項目を入札公告に訂正し使用すると理解してよろしいでしょうか、ご教示ください。	入札公告（説明書）に記載されている評価項目に修正して使用願います。
57	技術提案書様式	技術提案書様式と入札公告の評価項目・項目数が合致しませんが、技術提案書様式は再掲示していただけるのでしょうか、ご教示ください。	技術提案書様式は再掲いたしません。入札公告（説明書）に記載されている評価項目・項目数に修正して使用願います。
58	技術提案書様式	技術提案書の評価項目それぞれを記入する際、提案1、2、3の※1、※2、及び提案4の()書きは省略しても宜しいでしょうか、ご教示ください。	省略できません。
59	評価項目 提案3	足場内作業の注釈が記載されていますが、足場内作業に落橋防止構造の設置に伴う足場の組立解体作業は含まれるでしょうか、ご教授ください。	足場の組立解体作業は評価対象に含まれないものとお考え下さい。
60	評価項目 提案3	割掛参考見積書（足場工費E（夜2））、割掛参考図（43/57, 45/57）に枠組足場 標準型FRP製との記載がありますが、指定仮設としてお考えでしょうか、ご教授ください。	金属製以外の足場であれば施工が可能とお考え下さい。
61	評価項目 提案3	割掛参考図（43/57）更埴Cランプ 足場計画図（その2）（参考図）に鉄道内の足場の記載がありますが鉄道会社との事前協議・相談状況についてご教示ください。	事前協議は完了しております。
62	評価項目 提案3	割掛け参考図（43/57）のA2橋台側の枠組足場 標準型FRP製の中に信号高圧線（6600V）がありますが移設等は考えられているのでしょうか、ご教示ください。	信号高圧線の移設は考えておりません。

技術提案に関する質問に対する回答

件名	長野自動車道 犀川橋耐震補強工事		
番号	質問箇所	質問事項	回答（発注者使用欄）
63	評価項目 提案4	特記仕様書P30に犀川橋（上下線）P15, P16, P17橋脚の想定最大N値の記載があり、それぞれ525, 700, 350となっていますが、鋼矢板打設・引抜の標準案の工法についてご教授ください。	硬質地盤クリア工法による打込み、電動式バイブロハンマによる引抜を想定しております。これについては、後日、参考積算条件書にて明示いたします。なお、本回答により契約上の工法を指定するものではございません。
64	評価項目 提案4	特記仕様書P30の犀川橋（上下線）P15, P16, P17橋脚の想定最大N値と設計図42/523～49/523より、鋼矢板の施工方法は空頭制限下（8～10m程度）での硬質地盤クリアパイル工法（ハンドリシングシステム）と推測できますが、推測工法の場合、概略工程表での工事完了が困難かと思われます。概略工程表における鋼矢板施工時の施工パーティ数をご教示ください。	貴社の施工計画に基づきお考え下さい。
65	評価項目 提案4	設計図42/523～49/523 に犀川橋 P15, P16, P17 橋脚の掘削・土留支保工に関する記載がありますが、これらは指定仮設でしょうか、任意仮設でしょうか、ご教示ください。	土留支保工は、設計図42/523～49/523に従って施工するものとお考え下さい。
66	評価項目 提案4	「特記仕様書 7－4（7頁）河川内工事における施工時期」によると、P17橋脚は令和8年11月1日～令和9年3月31日の1非出水期で施工を行うもの、との記載がありますが、理由についてご教示ください。また、理由となる条件をクリアした場合、P17橋脚についてもP15橋脚・P16橋脚同様、令和9年11月1日～令和10年3月31日も含めた2非出水期に渡って施工することは可能でしょうか、ご教示ください。	協議等によるものとお考え下さい。また、P17橋脚は1非出水期での施工とお考え下さい。